

医科学（4年）

責任者・コーディネーター	口腔医学講座（関連医学分野）千葉 俊美 教授		
担当講座（分野）	口腔医学講座（関連医学分野）、薬理学講座（病態制御学分野）、口腔顎顔面再建学講座（歯科放射線学分野）、医学部各講座		
対象学年	4	区分・時間数 (1コマ2時間換算)	講義/演習 実習
期間	通期		前期 54.0時間 ー 後期 44.0時間 ー

学修方針（講義概要等）

4年次で歯科医師が必要とする医学的知識の習得を目的とし、さらなる専門分野の知識を得ることにより、歯科診療上重要な疾患の病因・病態と診断・治療について学修する。

教育成果（アウトカム）

口腔医学の観点から歯科診療上重要な眼科学、産婦人科学、皮膚科学、小児科学、泌尿器科学、精神神経科学、臨床検査医学などの疾患の病因・病態と診断・治療を学び、主要疾患の基本的知識を習得することで、口腔と全身の関わりを理解するとともに、全人的医療の一環としての歯科医療人が育成される。

（関連するディプロマポリシー：3、4、8）

到達目標（SB0s）

1. 泌尿器疾患、腫瘍の発生、転移、がん遺伝子と化学療法、小児科疾患、眼科疾患、臨床検査学、輸血療法、細菌学検査、産婦人科疾患、精神・神経疾患、皮膚科疾患、冠動脈バイパス術、感染性心内膜炎と弁膜症の外科、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）、上部消化器疾患、循環器疾患診療の進歩、神経変性疾患、脳血管障害、救急医療、内科救急、臓器移植、頭頸部の画像診断と治療への応用、肝疾患、消化器疾患と外科治療、PET診療の基礎知識、骨粗鬆症、関節リウマチ、下部消化管疾患と外科治療、胆膵疾患、救急の画像診断、心身医学、咽喉頭部疾患、耳鼻科疾患、内分泌代謝疾患、脳血管障害の外科治療、がん治療と口腔管理、腹部救急疾患、腎疾患、高磁場MRIの現状と臨床応用、肺癌、集中治療について理解し説明できる。

事前事後学修の具体的内容及び時間

[事前学修] シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は平均30分を要する。

[事後学修] 講義資料や教科書等を用いて事後学習を行うこと。各授業に対する事後学習の時間は平均45分を要する。

（事前学修：平均30分を要する 事後学修：平均45分を要する）

講義/演習日程表

区分	月日 (曜)	時 限	担当教員 (講座 分野)	ユニット名 内容	到達目標 [コア・カリキュラム] 事前事後学修
講義	4/7 (火)	2	阿部貴弥教授 (泌尿器科学講座)	1. 泌尿器科学2-腎不全とその治療	以下の項目について理解し説明できる。 1. 急性腎障害, 慢性腎臓病の原因・病態・治療 2. 透析療法と腎移植 3. 透析および腎移植症例での歯科治療上の留意点 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 急性腎障害、慢性腎臓病、透析療法、腎移植 [事前学修] 腎臓に関する解剖および機能について確認し講義に臨むこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	4/8 (水)	5	兼平貢講師 (泌尿器科学講座)	2. 泌尿器科学1-泌尿器総論	以下の項目について理解し説明できる。 1. 泌尿器の解剖・生理 2. 泌尿器疾患の病態生理・症候 3. 泌尿器疾患での歯科治療の留意点 4. 尿路感染症、性行為関連感染症の病態と治療 5. 腎・尿管・膀胱結石の病態と治療 6. 泌尿器科疾患での歯科治療の留意点 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 泌尿器の解剖・生理、泌尿器疾患の病態生理・症候、尿路感染症、腎・尿管・膀胱結石 [事前学修] 泌尿器科学および尿路に関する解剖および機能について確認し講義に臨むこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	4/13 (月)	5	千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）	3. 身体所見とリスク評価と主要徴候および感染症・院内感染	以下の項目について理解し説明できる。 - バイタルサインの原理と測定 - 胸痛、ショック、頭痛、意識障害、呼吸困難、出血 - 感染症の分類、主要な症候、病態 - 院内感染経路および院内感染防止対策 [E-6-②] （口腔医学キーワード） バイタルサイン、胸痛、ショック、頭痛、意識障害、呼吸困難、出血、感染症、院内感染 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	4/14 (火)	1	西塚哲教授（創薬・医療機器開発部門）	4. 腫瘍の発生、転移、がん遺伝子と化学療法	以下の項目について理解し説明できる。 - 腫瘍の概念、病因 - 腫瘍の発育様式、転移 - がん遺伝子・がん抑制遺伝子 - 悪性腫瘍の症候、病態と診断 - 抗癌剤の種類と佐作用機序 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 腫瘍、転移、がん遺伝子、がん抑制遺伝子、アポトーシス、分子標的マーカー、化学療法 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	4/23 (木)	5	今泉利康講師（眼科学講座）	5. 眼科学総論-視覚器の解剖と機能	以下の項目について理解し説明できる。 - 眼球の横断面の構造 - 眼球と付属器の発生 - 網膜から視神経、後頭葉に至る視覚伝導路の発生 [D-2-3] （口腔医学キーワード） [事前学修]眼科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	4/28 (火)	3	井上義博名誉教授 (救急・災害医学講座)	6. 救急医療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な救急医療の主要症候と病態等を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 岩手医科大学の救急医療システム 2. 救急医療の現状と対応 3. 頭頸部外傷の現状と対応 4. ドクターヘリの現状 5. トリアージ [D-2-3] （口腔医学キーワード） 救急医療、救急医療システム、頭頸部外傷、交通外傷、ドクターヘリ、トリアージ [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	4/28 (火)	4	中居賢司客員教授	7. 循環器疾患診療の進歩と歯科医療での課題 口腔（歯科）診療を行う上で必要な循環器疾患診療の進歩～主要症候と病態を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 口腔（歯科）診療に必要な循環器疾患診療の進歩 2. 歯科治療中の主な不整脈発作の心電図上の特徴 3. 心房細動での抗凝固療法について 4. ペースメーカー、植込み型除細動器の意義 5. 大動脈弁狭窄症での歯科治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 期外収縮、心房細動、心室頻拍、心室細動、房室ブロック、心臓ペースメーカー、埋込み型除細動器（ICD）、抗凝固療法大動脈弁狭窄症 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	5/15 (金)	1	及川誠講師（眼科学講座）	8. 歯科・口腔外科領域および全身疾患と眼 以下の項目について理解し説明できる。 1. 口腔、上顎洞、眼窩の解剖学的関係 2. 歯科・口腔外科疾患による眼合併症 3. 口腔内と眼病変を伴う全身疾患の症状、病態と治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） [事前学修] 眼科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	5/19 (火)	1	藤原亨准教授（臨床検査医学・感染症学講座）	9. 輸血検査・輸血療法、GVHD 以下の項目について理解し説明できる。 1. 輸血検査（血液型検査、不規則抗体スクリーニング検査、交差適合試験、輸血後感染症に関する検査） 2. 輸血療法（輸血の適応と輸血の副作用） 3. 輸血後GVHDの病態と予防方法 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 輸血、GVHD [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	5/19 (火)	2	日比谷健司助教（臨床検査医学・感染症学講座）	10. 細菌学的検査 以下の項目について理解し説明できる。 1. 感染症診断における細菌検査の意義 2. グラム染色と薬剤感受性試験 3. 臨床的に問題となる薬剤耐性菌（MRSAなど） [D-2-3] （口腔医学キーワード） 細菌検査、薬剤感受性試験、薬剤耐性菌（MRSAなど） [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	5/26 (火)	1	永沢崇幸特任講師 (産婦人科学講座)	11. 産科学総論	以下の項目について理解し説明できる。 1. 妊娠経過 2. 分娩経過 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 妊娠、分娩 [事前学修] 分娩進行過程および周産期の母胎の生体変化を確認し講義に臨むこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	5/26 (火)	2	利部正裕特任准教授 (産婦人科学講座)	12. 婦人科学総論	以下の項目について理解し説明できる。 1. 女性性器の構造、機能 2. 婦人科良性疾患 3. 婦人科悪性腫瘍の診断と治療 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 婦人科良性疾患、婦人科悪性腫瘍 [事前学修] 婦人科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	5/28 (木)	1	橋浦哲哉講師 (眼科 学講座)	13. 角膜移植と角膜屈折 矯正手術、白内障手術	以下の項目について理解し説明できる。 1. 角膜移植の適応となる疾患や方法 2. 角膜屈折矯正手術の適応と方法 3. 白内障の種類 4. 白内障手術の適応と方法 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 角膜移植、角膜屈折矯正手術、白内障 [事前学修] 眼科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	6/1 (月)	5	中西啓教授（耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）	14. 鼻・副鼻腔解剖生理と疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な鼻・副鼻腔の解剖生理と疾患を理解する	以下の項目について理解し説明できる。 1. 鼻・副鼻腔の解剖と生理 2. 鼻・副鼻腔の疾患の症状と治療 3. 食道異物、気管支異物に対する検査・治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 鼻・副鼻腔の疾患 食道異物、気管支異物 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/8 (月)	5	中西啓教授（耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座）	15. 聴覚・平衡解剖生理 口腔（歯科）診療を行う上で必要な聴覚・平衡解剖生理の意義を理解する	以下の項目について理解し説明できる。 1. 側頭骨解剖 2. 伝音機構 3. 内耳の聴覚・平衡生理 4. 聴覚検査 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 側頭骨解剖、伝音機構、内耳、平衡生理、聴覚検査、難聴 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/9 (火)	1	三田俊成講師（神経精神科学講座）	16. 精神・神経疾患総論	以下の項目について理解し説明できる。 1. 主な精神症状 2. 精神科疾患 3. 歯科に関連する精神障害 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 精神症状、精神科疾患 [事前学修]精神神経医学に関する国家試験問題，教科書および過去の講義資料を確認し講義に臨むこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	6/9 (火)	2	渡部大輔准教授（皮膚科学講座）	17. 皮膚科学1 以下の項目について理解し説明できる。 1. 皮膚と粘膜の解剖・生理 2. 皮膚疾患と粘膜病変のかかわり 3. 歯科（口腔疾患）と皮膚粘膜の関連性 [D-2-3] （口腔医学キーワード） [事前学修] 皮膚科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/16 (火)	1	王挺講師（口腔医学講座 関連医学分野）	18. 消化器疾患と口腔内細菌叢、非アルコール性脂肪性肝疾患（NAFLD）の分子病態学 以下の項目について理解し説明できる。 1. 口腔/腸内細菌叢の異常とNAFLDの関連 2. 病原性口腔細菌を標的としたNAFLDの予防・治療法の開発 [D-2-3] （口腔医学キーワード） NAFLD、腸内細菌、口腔細菌 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/16 (火)	2	角田加奈子講師（皮膚科学講座）	19. 皮膚科学2 以下の項目について理解し説明できる。 1. 湿疹皮膚炎の機序と治療法 2. 口腔粘膜病変を伴う薬疹の種類と治療 3. 細菌性、ウイルス性、真菌・抗酸菌、性行為感染症の種類を列挙する 4. 上記感染症の発症機序、治療法、予防法 [D-2-3] （口腔医学キーワード） [事前学修] 皮膚科学に関する解剖および機能を確認し講義に臨むこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	6/16 (火)	4	千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野） 20. 消化器良性・悪性疾患と重要な消化器疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な消化器疾患について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 胃酸・消化の機能 2. 消化性潰瘍の発生機序と鎮痛・消炎薬、ピロリ菌感染症 3. 消化管憩室 4. 機能性消化管疾患 5. 食道癌の危険因子、疫学、検査、治療 6. 胃癌の危険因子、疫学、検査、治療 7. 大腸癌の危険因子、疫学、検査、治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 胃酸分泌機構、消化性潰瘍、消化性潰瘍の発生機序、ピロリ菌感染症、アラキドンサンカスケード、憩室症、機能性ディスペプシア、過敏性腸症候群、慢性便秘症、腸内細菌、食道癌、胃癌、大腸癌 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/23 (火)	1	片桐克則准教授（耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座） 21. 咽喉頭解剖生理と疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な咽喉頭解剖生理と疾患を理解する	以下の項目について理解し説明できる。 1. 咽喉頭の解剖と生理 2. 嚥下のメカニズム 3. 反回神経麻痺の原因と症状 4. 咽喉頭の疾患の症状と治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 咽喉頭、嚥下のメカニズム、反回神経麻痺、咽喉頭の疾患 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	6/23 (火)	2	山崎知子非常勤講師 (埼玉医科大学 医学部国際医療センター 頭頸部腫瘍科 教授) 講義形態: Web	22. がんの総論 がん治療と口腔管理 口腔(歯科)診療を行う上で必要ながんの総論、がん治療と口腔管理について理解する。 頭頸部癌疾患について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. がん総論 2. がん治療と口腔管理 3. 頭頸部癌疾患 [D-2-3] (口腔医学キーワード) がん総論、頭頸部疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/26 (金)	3	前田哲也教授(内科学講座 脳神経内科・老年科分野)	23. 神経変性疾患、その他の神経疾患 口腔(歯科)診療を行う上で必要な脳神経系の病態を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. Parkinson病と類縁疾患、認知症疾患 2. その他の代表的神経疾患 [E-6-②] (口腔医学キーワード) Alzheimer病と認知症疾患、Parkinson病と類縁疾患、神経感染症、脱髄性疾患、末梢神経疾患、筋疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	6/29 (月)	2	板橋亮教授(内科学講座 脳神経内科・老年科分野)	24. 脳血管障害 口腔(歯科)診療を行う上で必要な脳血管の病態を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 脳卒中の定義と種類 2. 脳血管の解剖と神経症候 3. 脳卒中の治療と予防 [D-2-3] (口腔医学キーワード) 脳血管障害(脳梗塞、脳出血)、巣症状 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	8/18 (火)	3	千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）	25. 心電図1 心電図を理解する1	以下の項目について理解し説明できる。 1. 心電図の誘導法 2. 心電図波形 3. 心電図波形の異常 4. 不整脈の波形 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 心電図、不整脈 [事前学修]講義内容を確認し、図解心電図テキストを必ず講読し問題を解き事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	8/18 (火)	4	千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）	26. 心電図2 心電図を理解する2	以下の項目について理解し説明できる。 1. 心電図の誘導法 2. 心電図波形 3. 心電図波形の異常 4. 不整脈の波形 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 心電図、不整脈 [事前学修]講義内容を確認し、図解心電図テキストを必ず講読し問題を解き事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	8/21 (金)	4	千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）	27. 心電図3 心電図を理解する3	以下の項目について理解し説明できる。 1. 心電図の誘導法 2. 心電図波形 3. 心電図波形の異常 4. 不整脈の波形 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 心電図、不整脈 [事前学修]講義内容を確認し、図解心電図テキストを必ず講読し問題を解き事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	9/9 (水)	1	高橋智弘講師（総合診療医学講座）	28. 内科救急 口腔（歯科）診療を行う上で必要な内科救急の主要症候と病態の理解と対処法を理解する。	以下の項目について説明できる。 1. 一次救命処置（BLS）：心肺蘇生+AED 2. 意識障害患者と窒息患者への初期対応 3. 二次救命処置（ALS） 4. 心停止の鑑別診断 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 気道確保、胸骨圧迫、人工呼吸、心室細動、AED [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	9/9 (水)	4	梅邑晃准教授(外科学講座)	29. 臓器移植 口腔（歯科）診療を行う上で必要な臓器移植について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 臓器移植の歴史 2. 臓器移植法 3. 拒絶反応 4. 移植片対宿主病 5. 肝臓移植 6. 肝臓移植例での歯科治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 移植、免疫抑制剤、肝硬変、黄疸、意識障害 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	9/16 (水)	2	井本逸勢 非常勤講師（愛知県がんセンター研究所 所長）講義形態：Web	30. 特別講義 がんの遺伝学と遺伝性腫瘍入門 口腔（歯科）診療を行う上でがんの遺伝学と遺伝性腫瘍について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. がんが遺伝子の病気であることを説明できる。 2. がん診療で遺伝性を考慮する意義を説明できる。 「A-1-3-4」、「A-5-6-1」、「D-2-3-1」、「D-2-3-6」 （口腔医学キーワード） がん遺伝子、遺伝性腫瘍 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	9/30 (水)	1	柿坂啓介准教授（内科学講座 消化器内科分野） 31. 肝疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な肝、胆、膵疾患について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 肝臓、胆嚢、膵臓の構造、機能、病態 2. 肝機能・肝障害の評価方法 3. 慢性肝疾患の主要な症候、病態 4. 肝硬変の病態 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 肝機能、肝障害、ウイルス肝炎（B型およびC型肝炎ウイルス）、非アルコール性脂肪肝、肝硬変、肝癌 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	9/30 (水)	2	佐々木章教授（外科学講座） 32. 消化器疾患と外科治療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な消化器疾患と外科治療について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 消化器疾患の主要な病態と症候 2. クリニカルパス 3. 内視鏡外科手術 4. 全身管理に注意すべき消化器疾患 5. 高齢者歯科診療で注意すべき消化器疾患 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 消化器疾患、貧血、黄疸、術前管理、術中管理、術後管理 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	10/7 (水)	1	田中良一教授（放射線医学講座） 33. PET診療の基礎知識 がん診療におけるPETの役割と限界を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 画像化の原理 2. 偽陽性と偽陰性 3. 検査の前処置 4. 医療従事者の放射線防護 5. 検査の適用 [D-2-3] （口腔医学キーワード） ポジトロンエミッショントモグラフィ(PET)、悪性腫瘍、炎症、放射線防護、適用 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	10/7 (水)	2	佐々木章教授（外科学講座）	34. 内分泌・代謝疾患と外科治療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な内分泌・代謝疾患の病態、周術期管理と治療について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 甲状腺・副甲状腺の解剖と生理 2. 膵臓の解剖と生理 3. 副腎の解剖と生理 4. 肥満症の病態 5. 口腔症状を呈する内分泌・代謝疾患 6. 甲状腺機能亢進症の周術期管理と治療 7. 肥満症の周術期管理と治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 体重減少、体重増加、頻脈、徐脈、血圧上昇、下痢、甲状腺機能亢進症、甲状腺機能低下症、副甲状腺機能亢進症、Cushing病、アルドステロン症、糖尿病 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	10/9 (金)	4	大竹伸平助教（整形外科外科学講座）	35. 関節リウマチと外科治療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な関節リウマチの病態と外科治療を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 関節炎の概要 2. 関節リウマチの概要と治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 関節炎、関節リウマチ、脊髄障害、開口障害、嚥下障害 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	10/14 (水)	1	小泉淳一准教授（心臓血管外科学講座）	36. 冠動脈バイパス術、感染性心内膜炎と弁膜症の外科	以下の項目について理解し説明できる。 1. 冠動脈バイパス術 2. 感染性心内膜炎 3. 弁膜症 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 冠動脈バイパス術、オフポンプバイパス手術(OPCAB)、感染性心内膜炎、人工弁、ワーファリン [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	10/21 (水)	1	田中良一教授（放射線医学講座）	37. 救急の画像診断 口腔（歯科）診療を行う上で必要な救急あるいは併存症の画像診断について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. アレルギーにより生じる画像所見 2. 誤嚥・誤飲による画像所見 3. 併存症の急変時画像所見 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 肺水腫、ARDS、誤嚥性肺炎、異物誤飲、気胸、縦隔気腫、急性大血管疾患 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	10/28 (水)	1	佐藤啓助教（小児科学講座）	38. 小児科学1	以下の項目について理解し説明できる。 1. 小児の成長と発達 2. 小児期の疾患の特殊性について [D-2-3] （口腔医学キーワード） [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	10/28 (水)	2	佐藤啓助教（小児科学講座）	39. 小児科学2	以下の項目について理解し説明できる。 1. 小児の代表的疾患について 2. 骨形成不全等 3. 感染性心内膜炎 4. 白血病等 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 骨形成不全、感染性心内膜炎、白血病 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	10/30 (金)	3	千葉佑介助教（整形外科科学講座）	40. 整形外科科学総論 - 骨粗しょう症 口腔（歯科）診療を行う上で必要な整形外科科学の意義を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 整形外科科学的疾患の主要徴候と病態の概要 2. 骨粗しょう症と治療（ビスフォスフォネート） 3. 頸椎症性脊髄・神経根症と治療 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 整形外科科学的疾患、骨粗しょう症、ビスフォスフォネート、顎骨壊死、頸椎症、脊髄症、神経根症、ロコモティブシンドロームと腰痛疾患 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	10/30 (金)	4	鈴木順非常勤講師	41. 心身医学総論 口腔（歯科）診療を行う上で必要な心身医学的疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について説明ができる。 1. 心身症の定義 2. bio-psycho-social medical model 3. 主要な歯科心身症の疾患名、症候、対応 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 心身症・心身医学 口臭症、舌痛症、顎関節症、口腔異常感症、味覚異常、歯科恐怖症 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	11/4 (水)	1	八重樫瑞典講師（外科学講座）	42. 下部消化管疾患と外科治療 口腔（歯科）診療を行う上で必要な下部消化管疾患と外科治療について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 大腸の解剖、機能 2. 大腸癌の危険因子、疫学、検査、治療 3. 大腸ポリープ・ポリポシス [D-2-3] （口腔医学キーワード） 大腸癌、Peutz-Jeghers症候群、Gardner症候群 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	11/11 (水)	4	赤松洋祐教授（脳神経外科学講座）	43. 脳血管障害の病態と外科治療および意識障害（脳死） 口腔（歯科）診療を行う上で必要な脳血管障害の病態と外科治療および意識障害（脳死）について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 脳卒中の病態（脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞） 2. 脳血管障害の外科治療（脳動脈瘤、頸動脈硬化症、内膜剥離術） 3. 意識障害の機構 4. 脳死の判定 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 脳卒中、脳内出血、くも膜下出血、脳梗塞、心原性脳塞栓症、凝固線溶、抗凝固薬、抗血小板薬、脳動脈瘤、脳動脈瘤クリップ、頸動脈硬化症、内膜剥離術、遷延性植物状態、脳死 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	11/12 (木)	5	川田一郎教授（内科学講座 呼吸器内科分野）	44. 肺癌 口腔（歯科）診療を行う上で必要な肺癌の主要症候と病態，治療を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 肺癌の病態、症状、検査所見、治療 2. 肺癌治療と口腔管理 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 肺癌 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	11/16 (月)	4	旭浩一教授（内科学講座 腎・高血圧内科分野）	45. 腎疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な腎疾患の主要症候と病態，検査，治療を理解する。	以下の項目について歯科診療との関連を説明できる。 1. 腎疾患の主要症候と腎機能検査 2. 腎・尿路系の主要な症候、病態、治療（ステロイドを含む） [D-2-3] （口腔医学キーワード） 蛋白尿、血尿、脱水、浮腫、糸球体濾過値(GFR)、クレアチニンクリアランス(Ccr)、糸球体腎炎、ネフローゼ症候群、慢性腎臓病、急性腎障害、ステロイド療法、透析 [事前学修] 講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修] 講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	11/18 (水)	1	中村正帆教授（薬理学講座 病態制御学分野）	46. 集中治療概論 口腔（歯科）診療を行う上で必要な集中治療を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 全身管理・集学的治療 2. 急性呼吸不全 3. ショック 4. 敗血症 5. 術後管理 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 集中治療、全身管理、呼吸不全、ショック、敗血症、術後管理 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	11/18 (水)	2	千葉俊美教授（口腔医学講座 関連医学分野）	47. 最近話題の消化器疾患 口腔（歯科）診療を行う上で必要な最近話題の消化器疾患の主要症候と病態を理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 機能的消化管疾患の主要な症候、病態 2. 慢性便秘症の主要な症候、病態 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 機能的ディスペプシア、過敏性腸症候群、慢性便秘症、腸内細菌 [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。
講義	11/25 (水)	1	菊池哲非常勤講師	48. 救急医療－腹部救急疾患と主要徴候 口腔（歯科）診療を行う上で必要な腹部救急、急性腹症、消化器救急について理解する。	以下の項目について理解し説明できる。 1. 急性腹症の兆候 2. 異物誤飲（義歯等） 3. 鎮痛剤と消化管出血 [D-2-3] （口腔医学キーワード） 救急性腹症、腹膜刺激症状、筋性防御、板状硬、打診痛、反跳痛、消化管異物、NSAIDs潰瘍、アラキドン酸カスケード [事前学修]講義内容を確認し、教科書等を用いて事前学修を行うこと。 所要時間30分程度。 [事後学修]講義資料や教科書等を用いて知識を整理しておくこと。所用時間は45分程度。

講義	12/2 (水)	2	小笠原邦昭学長	49. 特別講演 本邦の医療レベルの客観的評価、医療の現状、岩手医科大学の医療の考え方、岩手県の医療の現状、医療者の倫理観、学生目標と手段の違い	以下の項目について説明できる。 1. 本邦の医療レベルの客観的評価 2. 本邦の医療の現状 3. 岩手医科大学の医療の考え方 4. 岩手県の医療の現状 5. 医療者の倫理観 6. 学生の目標と手段の違い (特別講演キーワード) 日本国民の満足度、医療レベル、地域医療、チーム医療、先進医療、医療人たる前に誠の人間たれ、社会常識、目標と手段
----	-------------	---	---------	--	---

教科書・参考書・推薦図書

区分	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	歯科医師のための内科学	千葉俊美、山田浩之 編	医歯薬出版	2021年
教	図解心電図テキスト 原著 第6版	Dale Dubin 著	文光堂	2007年
参	(歯科内科) Internal Medicine for Dental Treatments	Toshimi Chiba, Hiroyuki Yamada, Editors	Springer	2024年
参	(歯科内科) 内科学 第12版	矢崎義雄 総編集	朝倉書店	2022年
参	(歯科内科) 今日の治療薬：解説と便覧 2024年版	浦部晶夫ほか 編	南江堂	2024年
参	(小児科学) 標準小児科学 第9版	原寿郎 監修	医学書院	2022年
参	(皮膚科学) 歯科医のための皮膚科学 第2版	山崎雙次ほか 編	医歯薬出版	2004年
参	(精神科学) 現代臨床精神医学 第12版 改訂	大熊輝雄 著	金原出版	2013年
参	(精神科学) ICD-10 精神および行動の 障害：DCR研究用診断基準 新訂版	WHO 編	医学書院	2008年
参	(臨床検査医学) 最新臨床検査項目辞典	伊藤機一ほか 編	医歯薬出版	2008年
参	(臨床検査医学) 標準臨床検査医学 第4版	高木康、山田俊幸 編	医学書院	2013年
参	(産婦人科学) 標準産科婦人科学 第5版	綾部琢哉、板倉敦夫 編	医学書院	2021年
参	(眼科学) 標準眼科学 第14版	木下茂 監修	医学書院	2018年
参	(泌尿器科学) 標準泌尿器科学 第9版	赤座英之監修、並木幹 夫ほか 編	医学書院	2014年
参	(外科学) 標準外科学 第17版	田邊稔 監修、池田徳 彦、大木隆生、猪股雅 史、篠原尚 編集	医学書院	2025年
参	5分でできる明るい歯科心 身医学	豊福 明、吉川達也、他	永末書店	2017年

成績評価方法・基準・配点割合等

定期試験で評価する（100%）

* 各講義数に応じた問題数による試験を実施する

到達目標	DP	定期試験	その他	合計
1	3 4 8	100		100
合計		100		100

特記事項・その他（試験・レポート等へのフィードバック方法・アクティブラーニングの実施、ICTの活用 等）

特記事項なし

当該科目に関連する実務教員の有無 … 有（大学病院等における医師や歯科医師の実務経験を有する教員が専門領域に関する実践的な教育を事例を交えて行う）

授業に使用する機械・器具と使用目的…特記すべき機械・器具等はありません。

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的